

ドクダミ

【 *Houttuynia cordata* 】

科名 ドクダミ科

属名 ドクダミ属

薬効・用途

全草（十薬 ジュウヤク）は、化膿、腫れ物、胎毒、蓄膿などに用いられる。また、便秘、悪瘡、尿道炎、高血圧、動脈硬化症の予防に茶剤として常用される。民間では生葉を揉むか火に焙って化膿、腫瘍、創傷などに貼付し又は煎汁で洗浄する。一般に漢方処方には用いず民間的に頻用される。



・花期：6～7月

備考

夏緑性の多年草。日本を含む東アジアに広く分布する。独特の臭気を持つところから毒溜(どくだめ)と呼ばれ、それが転じてドクダミとなった。また、十薬の名はドクダミでウマを飼育すると、10種の薬に相当する効果があることから生まれた。両性花。